

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

社 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



宮城県畜連ビル落成

もくじ

- 昭和63年度畜産振興補助事業について…… 2
- くみあいハウス養豚について…… 3
- みやぎミルクランドフェアについて…… 4
- 宮城のふるさと農業まつりを終えて…… 5
- 宮城県畜連ビル・落成…… 6
- 系統豚増殖利用による肉豚資質向上対策…… 6
- 宮城県における優良乳用種雄牛
選抜高度化事業の成績…… 7
- イバラキ病発生続く!!…… 8
- 随想…… 9
- 農林水産祭参加各種共進会盛會裡に終了!!…… 9

昭和63年度畜産振興補助事業について

宮城県畜産課

畜産振興補助事業は、地方競馬の益金の一部を畜産振興の施策に役立てるため設けられた制度であり、国の補助事業の補完的な役割を果たしております。

この度、昭和63年度の畜産振興事業実施要綱が制定されましたが主な事業について下表のとおりですのでご活用されるようお知らせいたします。

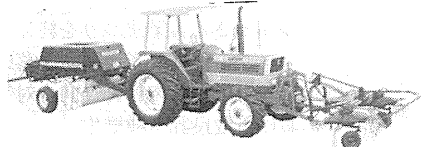
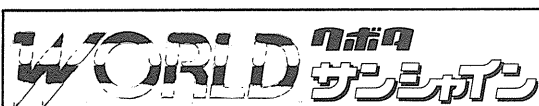
申請は、62年12月中旬までとなっておりますので、所轄家畜保健衛生所経由（県域団体は直接）で県畜産課へ提出願います。


なお、申請手続等不明な点につきましては所轄家畜保健衛生所又は県畜産課へお問い合わせ下さい。

昭和63年度畜産振興補助事業

| 事業名 | 補助事業の概要 | 補助の対象 | 補助率等 |
|----------------------|---------------------------|-----------------------------|---|
| 畜産経営合理化事業 1. 酪農対策 | 乳用牛公共牧場利用促進 | 夏期放牧促進費 | 夏期放牧 1頭 6,000円以内 |
| | | 越冬放牧促進費 | 越冬放牧 1頭 10,000円以内 |
| 2. 肉用牛生産対策 | (1) 優良肉用牛資源確保 ① 雌牛生産推進 | 生産推進費 | 1頭 20,000円以内 |
| | | ② 雌牛放牧推進 | 放牧推進費 1頭 7,000円以内 |
| | (2) 生産合理化技術普及 定着 | 実証普及及び検討会費 | 実証普及及び検討会費 1事業主体（1指定市町村） 200,000円以内 |
| 鶏、めん羊、その他の家畜の生産対策 | めん羊導入 | 種めん羊導入費 | 1頭 36,000円以内 |
| 家畜衛生推進 | ダニ駆除薬剤散布 | 牧野衛生費 （航空機又は散布機の借上料、薬剤費） | 航空機散布 1ha当たり 8,000円以内 機械散布 1ha当たり 5,000円以内 |

（畜産流通係）




株式会社 五十嵐商会
 仙台市卸町五丁目1番地4
 電話(022)236-2525(代表)

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
 プロイラー用配合飼料
 肉牛用配合飼料
 乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
 石巻市川口町3丁目2番8号
 TEL石巻 0225 (95) 4171~4

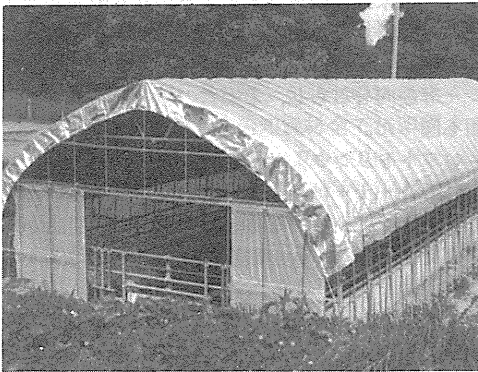
くみあいハウス養豚について

宮城県経済農業協同組合連合会

昨今の、養豚をとりまく環境は厳しく、枝肉相場をみても低迷が続き、昔のような高原相場の再来は難しい見通しにあり、養豚農家にとって年間所得を維持するためには、生産性を上げ、出荷数を増やし、生産コストの低減合理化をはかることが必要となります。繁殖経営においても、子豚相場の乱高下により、経営は不安定化し、対応策として、一貫経営への移行も見受けられます。また、一方、農家では、就農人口の減少、従事者の高齢化などによる労働力不足が進行しつつあり、さらに、悪臭、汚水など、ふん尿に由来する公害規制もきびしくなっております。

このような諸問題に対処し、これから養豚を展開するためには、施設費の低減、ふん尿処理の合理化、労働力の軽減、公害対策などが必要となります。はじめに西日本で実施され、その後東進し、ここ数年前から本県にも見受けられるようになったビニールハウスと発酵床との組み合わせによる新しい養豚方式の「ハウス養豚」が、これらの条件を満たす方策として最近脚光をあびてきました。

本会では、昨年からのこの新方式のハウス養豚の実証



試験と、その結果にもとづく普及推進を行い、このたび「くみあいハウス養豚」としてスタートすることになりましたので、その概要について紹介いたします。

ハウス豚舎は、間口7.3m(4間)、長さ18.1m(10間)、面積132㎡(40坪)の大ききで肥育豚70頭収容を標準としています。主な構造は、直径25.4cmの曲管を主骨組とし、補強材として、直径42.7cmの曲管を用い、屋根材は、アルミ箔シートを使用する積雪地用仕様になっています。内部の豚飼育用枠は、足場用丸パイプと合板か、コンクリートパネルを使用し、設備として、肥育豚用不断給飼器(4頭口)を5個、自動給水器を4個取り付けられています。施設費は、組立費を除いて1棟約60万円位になります。床は、とくに基礎工事などはせず、直接土の上にオガクズとモミガラを混ぜたものを約30~40cm位の厚さに敷きつめ、この上で、ふん尿を発酵させ堆肥化します。発酵が効率よく行われるように、発酵補助の生成物を添加します。発酵生成物は、くみあいが開発した「ねごこの素」を生米ぬかに混ぜ発酵させたものを用います。このことにより床の発酵が維持され排泄したふん尿が効率よく処理され、悪臭、汚水といった公害要因が解消されます。肉豚出荷毎に、発酵床の上部を深さ10cm位取り除き、上記の発酵材料を入れ、発酵を円滑に維持継続させます。

日常の管理は、通常の除ふんは不要のかわり、2~3日おきに、床の水分調整、汚れた部分の切りかえしなど床面の管理が必要です。衛生面からみますと、通常豚舎のように水洗消毒ができませんので、十分衛生に留意し、とくに発酵床は、その温度、湿度などから寄生虫卵の好適な温床となり、発育障害、肝臓白斑の発生など寄生虫による被害がでますので、導入時、中間、出荷前に駆虫剤の投与が必要です。なお、くみあいでは、導入後給与するB段階飼料に新しい駆虫効果の高いクエン酸モランテルを添加したものを用意しております。そのほか、この新しい養豚方式を普及していくための技術ガイドとして「くみあいハウス養豚の手引」を作成しておりますので、詳細につきましては、最寄の農協にご相談願います。

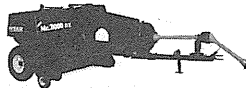
(堀井)

より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
牧草梱包稲わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX

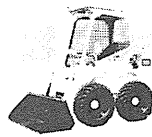


ヘーベラーTHB2020

STAR-農機株式会社 仙台営業所

985 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573
FAX 367-4846

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社 東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-235-5511~5517

みやぎ ミルクランドフェアについて

宮城県牛乳普及協会

先般宮城県牛乳普及協会では、農林水産省、畜産振興事業団の後援のもとに牛乳乳製品の消費拡大を図る為、みやぎミルクランドフェアを開催致しました。

このフェアは県との共催の他、指定団体の後援、乳業各社の協賛と宮城県内の酪農乳業団体が一体となり10月2日から10月7日までの6日間にわたり、仙台市の藤崎デパート6階催事場で開催されました。

初日のオープンセレモニーは午前9時30分から始まり、津軽芳三郎副知事、伊藤宗一宮城県牛乳普及協会長の挨拶に続き坂柳迪夫東北農政局次長、高橋健輔県議会副議長、井上圭二畜産振興事業団助成部長、そして増田甚平全国牛乳普及協会副会長の来賓祝辞、その後、大石昌藤崎常務、消費者代表、生産者代表を含めた9氏によるテープカットが行なわれました。

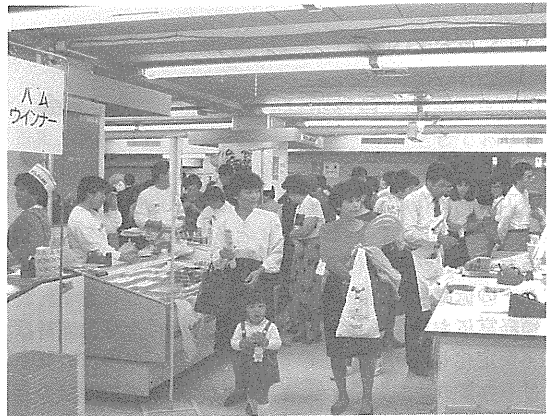
オープンセレモニーには、生産者団体、処理業者、販売業者の代表者それに行政、畜産関係の方からも多数出席をいただき、テレビ局や新聞社等の取材も合わせ大いに盛り上がりました。

又、各コーナーには生産者団体や処理業者の担当者が連日100名近くも応援に来られ、全員一丸となって消費拡大を推進出来たことは、事務局として何物にも勝る喜びとなりました。

フェアの内容につきましては、全体運営も大事ですが、イベント参加者の普及活動を尊重する為に、各コーナー毎にご紹介致します。

(1) 入口(集客)コーナー

このコーナーは昨年度のミルクレディーコンテストで選出されたミルクレディーが、モーモーファッションで会場案内図、アンケート用紙を配付し、毎日先着200名に牛乳乳製品をプレゼントする等集客に努めた。又仙台駅や中央通り(仙台のメインストリート)では女性アルバイトや牛のぬいぐるみによ



る集客も行なった。

(2) 牛乳乳製品展示コーナー

県内販売業者の製品を入口左側に3段飾りで、ディスプレイし、入場者に牛乳乳製品の普及を行なった。製品説明は各メーカーが担当した。

(3) 乳製品手作りコーナー

処理業者の協力のもとに、手作りヨーグルト、アイスクリーム及びバターを製造実演し、終日試食を実施し、好評を博した。

(4) 牛乳乳製品料理試食コーナー

市内有名料理学校の先生方をはじめ、県内処理メーカーの栄養士の皆さんによる牛乳乳製品料理を、毎日3品目、期間中約6,000名に試食を行なった。このコーナーは本フェアの目玉であり、ディスプレイ等趣向をこらし、来場者の憩いの場としての活用も図った。

(5) ソフトドリンク、サラダバーコーナー

このコーナーは、生産者団体の女性職員にお願いし、スタンドバー的な雰囲気も手伝い、開店から閉店まで絶え間なく人が集まり、およそ30,000人の人が利用しました。

(6) 牛乳乳製品、畜産物販売コーナー

県内販売メーカー11社並びに畜産団体等の協力により、出来る限りの牛乳乳製品を集め一般消費者に

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地

TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1

TEL 0229238888(代)

| | | |
|--------|-------|-------|
| 花巻営業所 | 水沢営業所 | 青森営業所 |
| 盛岡営業所 | 大館営業所 | 八戸営業所 |
| 大船渡営業所 | 横手営業所 | 山形営業所 |
| 酒田営業所 | 福島営業所 | |

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市稲葉字道の上106番1号
☎989-61 TEL古川(0229)23-1631

PRするとともに市価より格安で提供した。

(7) 消費者相談コーナー

各社の相談室長によるこのコーナーは、いろいろな牛乳乳製品に関する質問や、医学的な質問もとび出し、消費者の牛乳に対する関心の高さを感じさせられた。

(8) ゲームコーナー

ミルク缶ゲーム、射撃ゲーム、そしてパターゴルフと来場者には無料で参加してもらい、景品としてポケットティッシュ等普及資材を進呈した。

(9) イベントコーナー

会場の雰囲気盛り上げる為にステージを設け、マギー隆司のマジックショー、ヘルシー講習会、モータークイズ大会、そして牛乳早飲み競争等随時イベントを実施した。

(10) ヘルシーチェックコーナー

コンピューターによるヘルシーチェックを実施し一般来場者の健康への関心を高めるとともに、健康飲料としての牛乳の普及を図った。

(11) 抽選コーナー

来場者にはもれなく抽選で商品を提供した。商品はスクーター、CDプレーヤー、ホームベーカー、ヨーグルター等の他に、メーカーや藤崎等から協賛社賞を提供していただき、空くじなしという事で常に長蛇の列が続きました。

会場全体の構成につきましては、昨年度に製作したファミリーミルクランドの資材を活用することから始めました。ファミリーミルクランドのキャラクター(人形等)をフル活用し、告知資材全てに印刷するとともに、会場の入口、パネル、ワッペン、ティッシュ等全て統一デザインでPRしたことが、一般消費者へのアピールになったと思っております。

尚、期間中の入場者は延べ13万人と予想を大幅に上廻り、成功裡に終了出来ましたことは、全普協をはじめ関係各位のご協力の賜ものと感謝を申し上げる次第であります。

(武田)

宮城のふるさと農業まつりを終えて

石巻家畜保健衛生所

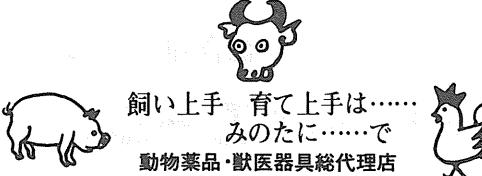
「宮城のふるさと農業まつり」が11月7～9日の3日間、石巻市総合体育館と石巻文化センターを会場に開催されました。34年ぶりに石巻で開催されたこともあり、主催者側はそれぞれに最大限の創意と工夫を凝らした催事を行い、私達の担当した「畜産の広場」においても「おまつり広場」のメイン会場として、いかに多くの人を集めるか、を念頭に工夫を行い、農業まつりの全体的な盛り上がりを図った。当広場は期間中天候にも恵まれ10万人を越える参観者があり、出店の食肉が2日間とも品切れになる等、予想をはかるに越える賑わいを見せ盛會裡に終了しました。

「畜産の広場」の構想は5月下旬には出来上がっていた。畜産の現状に鑑み、「畜産物の消費拡大を図る」ことをテーマに催事を行うこととし、所員がそれぞれ自分のアイデアで構築し、所内会議で全体の調整を行った。また「民間活力の導入」を行い、少ない資金でいかに大きな効果を上げるかに留意し、養豚家、養鶏家、獣医業、動物愛護家、衛生指導協会、畜産物製造販売業者等、畜産の生産から販売まで一連の関係者が参画し、また一方では参観者も各種催しに参加できるよう配慮し「楽しみながら畜産を理解し消費拡大に繋がるように」企画した。当初の構想が会場あるいは人員などの制約により、かなり縮小されたものとはなったが、従来のやり方とは一線を画し「畜産の広場」1ヶ所に凝集し、参観者を集め、留め得たことが盛會の要因ではなかったか、と考えています。

終わった今、所員は疲れの中にも心地良い充実感を味わっているところです。

最後に資金面、あるいは人的にご援助ご協力を賜りました多くの関係者に紙面をお借りし、感謝を申し上げます。“どうもありがとうございます”

(佐藤武夫)



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

| | | |
|---------------------------------|---|--|
| 本店 山形店 仙台店 鶴岡店 いわき店 | 山形市蔵王成沢字町浦491～2 TEL(88)3121 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL(43)4306 鶴岡市大字布目字東通り57～1 TEL(24)0963 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300 | |
|---------------------------------|---|--|

ビフィズス菌は

ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。

生きて腸までとどきます。

ビヒダス®

ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市坂野坂五丁目1番3号
☎(022) 384-5181

— 宮城県畜連ビル，落成 —

家保だより

11月末より新事務所で業務！！

宮城県畜産農業協同組合連合会

本年2月より工事中であった新宮城県畜連ビル（表紙掲載）も11月20日に落成引受けをみるにいたり、ここにその概要を紹介いたします。

本会も発足以来、昭和63年秋に創立40周年を迎えることとなります。この地域は杜の都仙台市の中心部に位置し中央商店街の至近地であって、県庁、市役所、国の合同庁舎など東北地方の統括管理機能の拠点に隣接しており、仙台市地下鉄の北四番丁駅に2～3分の場所で仙台の新しい機能的オフィス街として注目されております。ついては本会事業の活性化と土地の高度化利用を図ることによって本会事業の確立に努め、本県畜産の発展と振興の殿堂として活用することの目的に建設したのであります。以下建築概要は次のとおりです。

- ◇名称 宮城県畜連ビル
- ◇所在地 仙台市上杉一丁目16番3号
- ◇構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造，地上7階，塔屋1階
- ◇延床面積 2,795.04 m²（845.50坪）
- ◇竣工 昭和62年11月
- ◇建築主 宮城県畜産農業協同組合連合会
- ◇設計 株式会社桂設計
- ◇施工 鹿島建設株式会社
- ◇設備 エレベーター 乗用11人乗1基
駐車設備 立体駐車32台収容
- ◇貸会議室 2室（47m²と52m²の2室）

系統豚増殖利用による肉豚資質向上対策

迫家畜保健衛生所

迫地区養豚協会（会長野野茂）は、系統豚利用による銘柄豚づくりと、肉豚資質の向上による養豚農家の所得を高めることを期待して種々検討を重ねて来た。

当地区は年間22万頭の子豚と9万頭の肉豚を生産する養豚の盛んな地域であり、その生産額も70億円で畜産部門の粗生産額117億円に占める割合は実に60%にも達しており、水田農業確立対策で転作が強化されて来ている現状から水稲単作地帯であることから水稲プラス畜産の複合経営による安定した経営の確立が当面の課題とされている。

こうしたことから、県畜産試験場で取組んでいる優良系統豚造成事業により作出される優良系統豚の普及活用による「迫地区系統豚増殖利用計画」を樹て組織的な利用普及の体制を確立しようと云うものである。

利用計画では、県の系統豚造成中のランドレース種（完成後は系統豚）と大ヨークシャー種系統豚交配によるF¹にデイロック種系統豚を交配させ三元交雑による良質肉豚の生産、純粋種豚の維持増殖にはそれぞれ担当農場を指定し分担して推進することとしている。

また、迫地区養豚協会内に「系統豚利用協議会」を設置し、原種豚の導入、生産種豚の配布計画や譲渡の世話、指定交配の指導、追跡調査等を実施していくこととしている。

この計画には、農協を初め、種豚生産農家、肉用素豚生産農家がそれぞれ理解と協力を得ることが大きなポイントであり、関係団体や関係機関の指導と協力により、豚肉の規格格付上物適合率を現在の40%から目標の70%へと向上させることが可能と思われる、今回の企画に対し大きな期待が寄せられている。

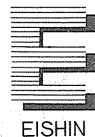
（半沢 康弘）

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社



クスリの総合卸

株式会社 エーシン

取締役社長 山田 修造

畜産営業所 仙台市木町通り1-5-19 ☎(022)267-7211

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

本社 仙台市卸町2丁目10-3 ☎(022)284-8111

< 畜試便り >

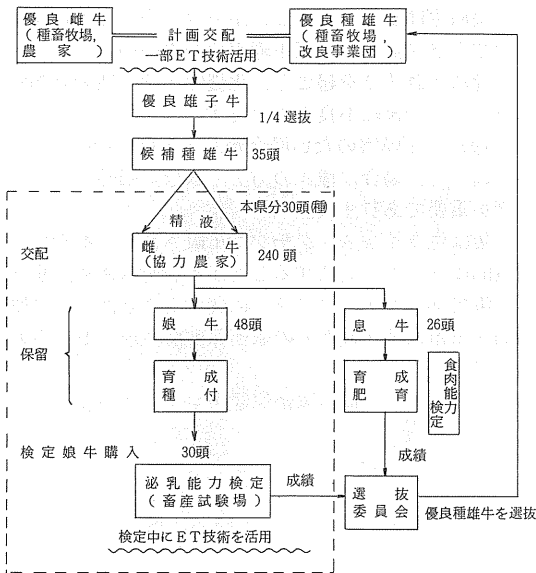
宮城県における優良乳用種雄牛
選抜高度化事業の成績

1. はじめに

優良乳用種雄牛選抜事業の起こりは、酪農経営が、計画生産下において、量的拡大より質的向上とコスト低減を一層強く要求されていることから、乳牛個体当たりの能力を向上し、能力に応じた合理的な飼養管理を確立して乳用牛の改良増殖を一層推進させる必要性に迫られ、国・道県・家畜改良事業団の組織的連携のもとに事業が発足しました。宮城県も第1期牛からこの事業に協力し、現在では第12期牛の検定途中にあります。今回は、この事業のしくみと第10期牛までの成績を報告します。

2. 選抜事業のしくみ

図 I 優良乳用種雄牛選抜高度化事業のしくみ
(旧事業名：優良乳用種雄牛選抜事業)



優良乳用種雄牛選抜高度化事業の方法

- (1) 検定娘牛：48頭中27頭以上を検定
(2) 分娩日から起算して、6日以降240日間
(3) 検定項目
①乳量：朝夕2回搾乳
②乳成分：乳脂率，蛋白質率，全固形分率を毎月1回(30日間隔)で測定。
③搾乳性：分娩後90日から120日までの間に分房別泌乳量，泌乳速度を2回測定。
④發育・体型：体重は毎月1回，その他満24ヶ月齢及び30ヶ月齢時に測定。体型・資質は分娩後90日から120日までの間に1回測定。
⑤疾病調査
⑥飼料給与量調査

図 I に事業の概略と検定方法を示しました。種畜牧場および農家において計画交配され、選抜された35頭の候補種雄牛の精液は23ヶ所の道県に配布されます。本県は30頭分の精液が配布され、それを協力農家に交配します。交配後得られた娘牛は、最終的に30頭にしぼり泌乳能力検定にかけ、息牛は産肉能力検定を行い、種雄牛選抜を行います。なお、昨年より改良のスピードアップのため、ET(受精卵移植)技術が導入され、事業名も乳用種雄牛選抜高度化事業と改められました。
3. 検定成績

表 I に宮城県における第10期牛までの乳量および乳成分の推移を示しました。乳成分については大きな変化がみられませんが、乳量では、第1期牛の成績と比較すると1,211kg増加となり36.9%の伸び率を示しました。我が国の生乳生産の伸び率をみても昭和50年と対比した場合23~25%の伸び率を示しており、乳牛の改良速度が加速的に進んでいることがわかります。

表 II に体型の推移を示しました。体重は僅かながら増加していますが、体高においては変化がみられません。このことは、乳量の伸び率からみても検定娘牛に対し、生理的に大きな負担をかけている事を示しており、今後育成等に問題を残したと思われる。

経営改善まっただなか
—畜産経営診断拡充運動—
くみあい畜産経営簿
(昭和63年版発売中)
農協・宮城県経済連・全農
2年連続上物数
日本一!
正統の育ちと味
仙宮牛

表I 乳量および乳成分の推移

| | 乳量 (240日) | 乳脂肪 | 蛋白質 | 無脂固形 |
|-------|--------------|------|------|------|
| 第1期牛 | 3,288.0 | 3.69 | 3.18 | 8.22 |
| 第2期牛 | 3,481.5 | 3.55 | 3.53 | 8.28 |
| 第3期牛 | 3,884.8 | 3.49 | 3.37 | 8.62 |
| 第4期牛 | 3,720.3 | 3.75 | 3.57 | 8.85 |
| 第5期牛 | 3,757.1 | 3.50 | 3.41 | 8.71 |
| 第6期牛 | 3,734.8 | 3.65 | 3.15 | 8.83 |
| 第7期牛 | 3,821.9 | 3.73 | 3.06 | 8.76 |
| 第8期牛 | 4,276.9 | 3.64 | 3.03 | 8.69 |
| 第9期牛 | 4,296.0 | 3.63 | 3.09 | 8.81 |
| 第10期牛 | 4,499.7 | 3.59 | 3.09 | 8.82 |

表II 体型の推移

| | 体重 (30ヶ月齢) | 体高 (30ヶ月齢) |
|-------|---------------|---------------|
| 第1期牛 | 469.0 | 133.4 |
| 第2期牛 | 452.0 | 132.1 |
| 第3期牛 | 466.4 | 131.7 |
| 第4期牛 | 467.5 | 132.5 |
| 第5期牛 | 460.3 | 133.2 |
| 第6期牛 | 488.5 | 134.7 |
| 第7期牛 | 495.9 | 130.9 |
| 第8期牛 | 514.3 | 133.7 |
| 第9期牛 | 500.6 | 133.9 |
| 第10期牛 | 483.4 | 135.5 |

4. おわりに

この事業で作出された種雄牛は延べ83頭にのぼり、中でもハイアービューマッテーフJ66は、乳量の改良速度が+1,008.6kgと高泌乳能力をもつ種雄牛で、最高の人気を博しました。最近では、乳成分に規制が敷かれたせいか、ミリーエスダッチョーホンチョーJ63(乳脂肪改良度+0.61%・+48.3kg, 無脂固形分+0.11%・24.4kg)に相当の人気が出ています。しかし、目先の規制に捕らわれ、自家牛群全体の能力(乳量・乳成分)を正確に把握せず、無作為に交配した場合、最終的に収入が減少してしまう事態に陥りかねません。従って、自家牛群の改良を進める場合は、牛群全体の能力を的確に把握し、この事業で作出された種雄牛の詳細なデータを大いに活用し、高い経済効果をもたらす精液を利用することで効率的かつ安定的な酪農経営を進めていただきたいと思います。

(大久 範幸)

イバラキ病発生続く!!

本病は今年9月7日熊本県の15戸15頭の発生を皮切りに、福岡・佐賀県を除く九州全土で発生しております。11月4日には四国の高知県に波及し、現在6県123戸124頭の発生であり今後継続発生の様相を呈しています。

イバラキ病の類似疾病としては牛流行熱、クラミジア病があり、これら3つを含めて法定伝染病としているため防疫上混乱を招いております。本病はイバラキウイルスが原因で起こり、ある種のヌカカを介して伝染しますが発生状況からも同居牛が必ずしも発生するわけではありません。また、地域は関東以南でしかも8月から11月に発生が限定されているため本県をはじめ東北地方での発生は認められていません。

症状は発熱(39.0~41.0℃)が先行し次いで涙を流し、泡沫性の流涎(よだれ)が出ます。その後これらの症状がなくなってから嚥下障害に陥り正常に水を飲みますが、飲んだ水は口や鼻から逆流します。その結果病牛は水分を摂ることができず発症牛の約10%が死亡します。また、嚥下障害の病牛の中には、誤嚥(気管に入れる)を起こし、化膿性・壊疽性の異物性肺炎となり予後は不良となります。

治療は嚥下障害のない場合殆んどが自然治癒しますが、起こした場合は種々の方法で水分の補給に努めることが重要であります。

予防は生ウイルスワクチンが市販されていますので、積極的にワクチン接種することが本病を未然に防止する対策であります。ワクチンに関することは、開業獣医師・家畜共済・最寄りの家畜保健衛生所にお問合わせ下さい。

(仙台家畜保健衛生所 中川正裕)

| | |
|---|---|
| <p>動物用薬品器材のことなら 古い伝統 と信頼のある東北獣医にご用命下さい</p> <p>本社 仙台市上杉3丁目3-8</p> <p>東北獣医薬品株式会社</p> <p>TEL (函) 7330・7338・7339</p> <p>仙台営業所 仙台市上杉三丁目3-8 022 (225) 7338~9</p> <p>山形営業所 山形市小石川四丁目9-24 0236 (23) 9909・9900</p> <p>古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28 0229 (34) 2018~9</p> | <p>“加美グリーンで豊かな土づくり”を</p> <p>(製品届出番号-宮城県第731号)</p> <p>名称 加美グリーン</p> <p>成分内容 本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壌pH8.6が保たれますので土壌改良資剤として最適です。(水分30% N 2.60% -P 6.18% -K 3.19%)</p> <p>小売単価 1袋15kg 320円(バラ売り可)</p> <p>製造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切)</p> <p>販売元 付7-1) (TEL 0229(65)-4336)</p> |
|---|---|

随想

「斉一性」

10年一昔と云うが最近は何の中の様子、人間関係、人のものに対する考え方、食生活のパターンは5年一昔と云わざるを得ない、食べ物は豊富、遊びも巾広く大きく変わりつつある。とりわけ昭和30年頃の食肉消費は年間一世帯当たり3.2kgと云う数字があり文字通り味を付ける程度であった。60年は牛肉10kg、豚肉19kg、トリ肉14kgがテーブルミートとして更に加工肉として消費されている他、外食産業の伸びも大きい。供給量は、国内生産輸入量も含め15年前の2倍強で他の食品にない伸びである。

このような経過の中で生産面で必ずしも順調な歩みでは決してないことは周知の通りである。種々あった中で貿易摩擦による外圧で、ただ単に国内産のものだけで相場市況は形成されなくなり、どうしても国際競争に突入規模拡大をせざるを得ない。しかし規模拡大により生産量は拡大されても、生産されるものに斉一性が見られないのでは大きな損失となることは明らかである。例えば台湾豚がテーブルミートまで利用される様になったのは何と云っても、見逃すわけには行かない。商品としてはニーズに合った斉一性であり、そして安定生産、安定供給が基本となるであろう。

そのためには「選抜」という科学的な手法により優良な遺伝子の集積を図ること、それが斉一性を前提にした。

生産性向上に寄与し得る育種事業を抜きにして今後の畜産は考えられないところまで来ているのではないだろうか。その範となるのが県で造成中の系統造成豚であり大いに期待したい又牛の面では肉用牛改良委員会を中心に関係者共々協力し生産の実情(子牛、肥育)を克明に分析の上宮城県としての改良目標を明確にして前進することが名実共に生産県になり得るものであろう。

(横山国明)



農林水産祭参加

各種共進会盛會裡に終了!!

第14回宮城県種豚共進会

主催：日本種豚登録協会宮城県支部

期日：昭和62年9月11日

場所：小牛田家畜市場

◎ チャンピオン賞

Table with 2 columns: グランド (Grand) and チャンピオン (Champion). Rows include 第4部 母娘群 (4th Division Mother and Daughter Group) with winners from 松山町 (Matsuyama) and 今野洋子 (Imano Yoko), 第3部 牡令雄 (3rd Division Stallion) with winners from 中新田町 (Nakanoshita) and 細谷政寿 (Hosoya Masatoshi), 第2部 経産 (2nd Division Breeding) with winners from 白石市 (Shirai) and 伊藤忠明 (Ito Chomaru), and 団体優勝 (Group Victory) by 大崎養豚協会 (Oosaki Pig Raising Association).

◎ 最優秀賞

Table with 2 columns: 第1部 (1st Division) and 第2部 (2nd Division). Rows include 未経産 (8ヶ月以上12ヶ月未満) (Not yet bred, 8 months to 12 months) with winners from 河南町 (Kawabuchi) and 玉沢洋 (Tamazaki Yoko), 経産 (12ヶ月以上) (Bred, 12 months or more) with winners from 白石市 (Shirai) and 伊藤忠明 (Ito Chomaru), 第3部1類 (3rd Division 1st Class) with winners from 若柳町 (Wakayana) and 大場宗男 (Omachi Munenori), and 第3部2類 (3rd Division 2nd Class) with winners from 田尻町 (Tajiri) and 沢口喜八 (Sawaguchi Kichiro), 第4部 母娘群 (4th Division Mother and Daughter Group) with winners from 一迫町 (Itzumi) and 千葉房義 (Chiba Fusayoshi).

第27回仙台牛枝肉共進会

主催：宮城県経済農業協同組合連合会

期日：昭和62年10月5～8日

場所：仙台中央卸売市場食肉市場

◎ チャンピオン賞

Table with 4 columns: 生年月日 (Date of Birth), 産地 (Origin), 出品者 (Breeder), and 氏名 (Name). Rows include 黒毛和種(去) (Black Wagyu, castrated) from 宮城県 (Miyagi Prefecture) and 南方町 (Minamikuze) with breeder 星喜忠 (Hoshi Kichiro), 雌 (Female) from 河北町 (Kaitai) with breeder 三浦政男 (Miyama Masao), ホルスタイン種(去) (Holstein, castrated) from 北海道 (Hokkaido) and 川崎町 (Kawasaki) with breeder 佐藤久実 (Sato Hisumi), and 褐毛和種(去) (Brown Wagyu, castrated) from 熊本県 (Kumamoto Prefecture) and 大和町 (Yamato) with breeder 若生雄也 (Wakae Yuya).

◎市場成績

| | | 生体重 (kg) | 枝肉重 (kg) | 枝肉単 価 (円) | 金額 (円) | 上位 等級率 (%) |
|-----------------|----|-------------|-------------|-----------------|-----------|------------------|
| 黒毛和種 (去) | 最高 | 770 | 488.0 | 5,500 | 2,211,000 | 61.0 |
| | 最低 | 460 | 276.5 | 1,820 | 530,880 | |
| | 平均 | 661 | 402.8 | 2,376 | 957,124 | |
| " (雌) | 最高 | 690 | 443.5 | 4,192 | 1,494,448 | 60.0 |
| | 最低 | 485 | 293.5 | 1,940 | 584,910 | |
| | 平均 | 561 | 341.4 | 2,384 | 813,850 | |
| ホルスタイン 種 (去) | 最高 | 850 | 497.0 | 2,208 | 1,015,680 | 86.0 |
| | 最低 | 630 | 379.0 | 1,163 | 522,769 | |
| | 平均 | 739 | 430.2 | 1,425 | 613,236 | |
| 褐毛和種 (去) | 最高 | 760 | 476.5 | 2,336 | 1,113,104 | 90.0 |
| | 最低 | 610 | 367.5 | 1,698 | 703,027 | |
| | 平均 | 682 | 418.5 | 1,980 | 828,661 | |

注) ホルスタイン種(去)、褐毛和種(去)の上位等級率は格付「中」以上

昭和62年度宮城県乳用牛・肉用牛共進会

主催：宮城県畜産農業協同組合連合会

期日：昭和62年10月27～29日

場所：古川家畜市場

1) 乳用牛の部

◎ 名誉賞

| | |
|-------|---------------------------|
| 第 4 区 | 未經産(ハイシニアクラス) 泉市 熊谷 豊吉 |
| 第 8 区 | 経産(成牛クラス) 中田町 菅原 一穂 |

◎ 優等賞

| | |
|-------|--------------------------|
| 第 1 区 | (ジュニアクラス) 矢本町 佐藤 義一 |
| 第 2 区 | (ハイジュニアクラス) 宮城町 滝口 惣一 |
| 第 3 区 | (シニアクラス) 宮城町 森 裕昭 |
| 第 4 区 | (ハイシニアクラス) 泉市 熊谷 豊吉 |
| 第 5 区 | (2オクラス) 東和町 千葉 敏行 |
| 第 6 区 | (3オクラス) 宮城町 滝口 惣一 |
| 第 7 区 | (4オクラス) 迫町 上野 栄公 |
| 第 8 区 | (成牛クラス) 中田町 菅原 一穂 |
| 第 9 区 | (多回検定) 鳴瀬町 及川 富男 |

2) 肉用牛の部

◎ 名誉賞

| | |
|-------|-------------------------------|
| 第 2 区 | 未經産(生後17ヶ月～20ヶ月) 南方町 千葉 正彦 |
| 第 5 区 | 経産(生後4才以上) 南郷町 川崎 達 |

◎ 優等賞

| | |
|-------|---|
| 第 1 区 | (生後14ヶ月～17ヶ月) 南郷町 結城 英文 |
| 第 2 区 | (生後17ヶ月～20ヶ月) 南方町 千葉 正彦 |
| 第 3 区 | (生後20ヶ月～24ヶ月) 南方町 遠藤 敏 |
| 第 4 区 | (2才以上4才未満) 南郷町 桜井 広志 |
| 第 5 区 | (4才以上) 南郷町 川崎 達 |
| 第 6 区 | (繁殖雌牛3頭群) 小牛田町 佐々木 森男 |
| 第 7 区 | (高等登録群) 鹿島台町 金子 勲 |
| 第 8 区 | (改良組合繁殖群) 南郷町 只野 善久 " 半田 紀夫 " 川崎 達 |

新刊図書のご案内

- ◎ 日本標準飼料成分表 (1987年版) 定価…1,200円
- ◎ 日本飼料標準・乳牛() " … 950円
- ◎ 日本飼料標準・肉用牛() " … 1,150円
- ◎ 日本飼料標準・豚() 近日発売予定
- ◎ 日本飼料標準・家禽(1984年版) 定価… 650円
- ◎ 牛の行動学入門 " … 4,000円
- ◎ 畜産におけるパソコン入門 " … 2,500円
- ◎ パソコンによる牛の飼料給与診断 " … 2,000円
- ◎ 低コスト畜舎建設の要点 " … 1,500円
- ◎ 経営診断からみた畜産経営(1987年版) … 3,500円

中央畜産会発行、お申込みは宮城県畜産会へ!!

